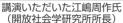
国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチだより(2015年12月号)

人権啓発講演会にて活動紹介

11月25日(水)・26日(木)・27日(金)、神奈川県内にて人権啓発講演会が開催されました。

山梨ブランチは、山梨県内に留まらず幅広く活動しています。神奈川県にて行われた人権啓発講演会では、山梨ブランチとして挨拶と活動内容紹介を行いました。また、そごう横浜で行われた人権啓発メッセージ展にも参加しました。







講演会会場 (神奈川県立音楽堂)



山梨ブランチ代表挨拶 (左は手話通訳)



人権啓発メッセージ展 (そうごう横浜店)

笑顔の連鎖からつながる優しい心

人権週間(12月4~10日)、世界人権デー(12月10日)を迎え、私たちの現状ををあらためて考えてみたいと思います。確実に少子高齢化社会に向かっている中、みんなが笑顔で幸せを感じられる世の中にするためにはどうしたらよいのでしょうか?「思いやりを持つ」「差別や偏見をなくす」「人権を尊重する」、みんながそんな気持ちでいられたらと思いますが、ストレスが多い現代社会、そう簡単にいかない現実があります。大切なのは、頭で考えるより、まずは行動してみることではないでしょうか?行動して「笑顔の連鎖」を作ることができれば、そこから優しさがつながるはずです。そして、それを始動し世の中の流れを作っていくのも行政の役目だと思います。



例えば、行政の窓口には多くの人たちが相談や手続きに訪れます。相談に訪れる人は「困っていることを解決できるだろうか?」と、手続きに訪れる人は「どのようにしたらよいかわらない」と不安になっています。年配の方ならなおさらその思いが強いかもしれません。そんな思いもなく訪れる方も当然いますが、問題は不安を抱えている弱者の立場になって対応できるか?です。その人の目線で考え、優しい気持ちで接するのはあたり前のことですが、最初接したときに与える影響がとても重要です。

不安な気持ちでいるとき、対応してくれる職員が優しく微笑んで声をかけてくれたら、どんなに気持ちが楽になることでしょうか?こちらから笑顔になれば、窓口に訪れた方も笑顔になります。口調もやさしくなり緊張もほぐれて相談や手続きもスムーズに進むはずです。優しく微笑んで声をかけるその優しい気持ちは、必ず相手に伝わります。相手を思う気持ちがあれば体は自然に動き行動するはずです。

そんな対応が自然にできる人は人権感覚を持った人です。それができれは、窓口に訪れた人も「相談してよかった」「手続きに来てよかった」と笑顔で優しい気持ちを持って帰ることができますし、その優しい気持ちを持ったまま次に会う誰かに接することができます。ひとつの笑顔は周りを笑顔にして、その笑顔は連鎖します。その優しい気持ちは接する人に次々につながっていきます。

先日、「窓口での対応が冷たく感じた」という声を聞きました。行政の仕事は事務的に処理することだけではありません。事務的なことは形であり、県民、市民を守り幸せにする手段にはなりません。相手は機械ではなく心を持った人間です。行政には、県民、市民が安心して暮らせるよう導く大きな役割があります。そのためにも、人権感覚を持って接してもらいたいと思います。誰でもが気軽に相談できることが必要です。お年寄り、大人、子供、全ての人たちが笑顔で幸せに暮らしていけることを望みます。山梨県が、人権感覚研ぎすまされた日本一の県として全国に誇れるようになりたいと願います。

活動報告

人権啓発メッセージ展 12月5日、そごう横浜店(神奈川県主催)にて開催された人権啓発メッセージ展に参加しました。

人権啓発パネル展 12月2日~15日、人権啓発パネル展を甲府市北公民館・甲府市南公民館にて行い、多くの方にご覧いただきました。

人権啓発講演会 11月25日・26日・27日、神奈川県内にて開催された人権啓発講演会(本部主催)において、山梨ブランチとして挨拶及び活動内容紹介を行いました。多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。

今後の予定

人権啓発パネル展

2月8日~2月19日 (甲府市役所/甲府市南西公民館)







